

人文社会ビジネス科学学術院
ビジネス科学研究群

学位プログラム名	課程	アドミッションポリシー	
法学 学位プログラム	博士前期課程	求める人材	企業において一定の実務経験を有しており、現代社会において生じる多様な諸問題を法学的専門知識と法的思考方法によって解決できる高度専門職業人としての能力を涵養しうる、強い学習意欲と熱意を有する人材が望まれる。
		入学者選抜方針	<p>研究計画書、筆記試験(小論文)、面接試験により選抜する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究計画書 研究に対する問題設定能力、計画策定能力、専門知識等を中心に評価する。 ・筆記試験(小論文) 基本的な法的思考能力、文章構成・記述能力を中心に評価する。 ・面接試験 研究能力、専門知識、コミュニケーション能力等を中心に評価する。 <p>ただし、弁護士・公認会計士等の一定の国家資格を有する者については、筆記試験(小論文)を免除する。</p>
	博士後期課程	求める人材	企業や社会が直面する新たな類型の法的諸問題について、総合的かつ高度な判断能力を持ち適切な解決策を提示できる高度専門職業人、及び、その経験を有効に活用し得る研究者となる人材を求める。
		入学者選抜方針	<p>以下を評価し、それぞれに対応する能力評価を踏まえて総合的に判定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究計画書、論文審査(修士論文又はそれに相当する学術論文): 研究課題設定能力、計画策定能力、専門知識及び論理的思考等の能力 ・筆記試験(外国語、専門科目(法学)): 外国語で書かれた法学に関連する文章の大意を比較的短い時間で把握する能力。法学についての専門的知識及び論述能力。 ・口述試験: 研究意欲や専門知識に関する能力、コミュニケーション能力
経営学 学位プログラム	博士前期課程	求める人材	社会人大学院であるためビジネスに根差した問題意識を持つことはもちろんのこと、研究として行う以上は学術的なアプローチに対する関心や知識も重要になる。また、研究を計画し遂行する過程では、自ら文献等調査の上、考察し解を導く積極的な姿勢が求められる。年齢も経歴も異なる多様な学生が集まるため、担当業務や専門領域を超えて幅広い関心を持つことが大切である。
		入学者選抜方針	<p>以下を評価し、総合的に判定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究計画書により: 問題意識、研究のアプローチ、専門的知識、研究の有用性・実現可能性および独創性、文章表現能力 ・小論文試験により: ビジネスや社会の諸問題に対する関心の広さと理解の深さ、論理的思考能力、文章表現能力 ・口述試験により: 研究計画書の理解度、専門的知識、学習や研究への意欲、考えを表現する能力
	博士後期課程	求める人材	社会人としてビジネスに根差した問題意識に根ざした博士論文研究を実践する上で、現代の経営学分野の先進的かつ先端的な学術上のアプローチ

			に強い関心があり専門的な知識・能力を有する人材を求める。加えて、研究を計画し遂行する過程では、自ら調べたり考えたりする積極的な姿勢を有し、担当業務や専門領域を超えて幅広い関心を持つ人材を求める。
		入学者選抜方針	<p>以下を評価し、総合的に判定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出論文と研究計画書：研究目的、研究方法の妥当性、研究の有用性・新規性ならびに文章表現能力 ・外国語試験（TOEIC で代替）：英語でのコミュニケーション能力 ・面接試験：プレゼンテーション能力、研究意欲やディスカッション能力